

1954(昭和 29)年～

1. 経歴・狭山とのかかわり

狭山市入間川に生まれる。狭山市立入間川小学校高学年で漫画家になりたいと思うようになる。西中学校時代の体育祭で、スペインの闘牛をイメージして「カルメン」の衣装をプロデュースし、自分の服を作る。高校時代には「ビューティフルパンツ」を制作。

「手に職を付けた方が、これからの女性の自立によい」という母の勧めに従い、1973(昭和 48)年に文化服装学院に入学。無遅刻無欠席の優等生だった。卒業後、1977(同 52)年に「イッセイミヤケインターナショナル」に入社し「イッセイスポーツ」のデザイナーとなり、その後「I.S.」のチーフデザイナーとなる。

1987(同 62)年に文化服装学院の同級生と結婚し、1990(平成 2)年、ファッションブランド「ツモリチサト」をスタート。2020(令和 2)年にブランド 30 周年を迎える。



2. 主な業績

- ・手掛けるデザインは、洋服から靴、バック、時計、財布、パジャマ、小物等多岐にわたる。
- ・1985(昭和 60)年、毎日ファッション大賞 新人賞を受賞。東京青山に初のブランドショップをオープン後、代官山、神戸、南堀江、銀座など国内各地に出店。(順不同)
- ・2002(平成 14)年、第 20 回毎日ファッション大賞を受賞。
- ・2003(同 15)年、パリにてコレクションの発表。発表の場を東京コレクションからパリコレクションに移す。香港、パリ、シンガポール、ロシアなど海外に出店。
- ・2008(同 20)年、狭山市の(株)広沢園が製造販売する狭山茶ペットボトルのパッケージデザインを手掛ける。
- ・2017(同 29)年、ニューヨーク・シティ・バレエ団のイベント「2017 FALL FASHION GALA」のバレエ衣装を手掛ける。
- ・2018(同 30)年、作品集「TUMORI CHISATO」(リットオーリ社)を出版。同書は、ブランドデビューから 27 年間のルックやデザイン画、プリントをコラージュした編集ページをはじめ、高田賢三氏、アートディレクターの葛西薫氏との対談、アラーキーこと荒木経惟氏や蜷川実花氏らによるシューティングカットなどを収録している。

3. 特筆

デザイン発想の源は、自分がどんなものを着たいか「自分が一番のお客様」から始まる。「子供心を忘れない」「楽しい」「可愛い」「これが欲しい」という直感でデザインする。型にはめ込むのではなくはみ出すこと。枠の中にいたら楽で無難だが人生は一度きり、だめなら変えてみようというポジティブシンキングで仕事をしている。狭山市立西中学校 50 周年記念誌に「世界で活躍する卒業生」で紹介され、生徒に「自分の好きな事を見つけて、それに向かって進んでください。好きな事なら続けられます。」とメッセージを送る。